

令和7年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)	部局名	監査事務局
款	項	目			課 名	監査事務局
2	6	1	監査委員費	194		

I：事業概要

施策事業名	監査管理
事業目的	行財政の適正な運営に資するため、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理、事業の執行等が、効率的、合理的、かつ公正に実施しているか等について監査・審査・検査を行う。
事業内容	●主な事業内容 ○例月出納検査 ・市の現金の出納事務が正確に行われているか検査し、かつ財務に関する事務の執行がその組織及び運営の合理化に努めているか検証する。 ○定期監査 ・市の財政に関する事務が適正で効率的に行われているかどうかを中心に、部局毎に期日を定めて計画的に実施する。 ○財政援助団体等に関する監査 ・補助金、交付金、負担金等の財政的援助を与えている団体、出資している団体、借入金の元金又は利子の支払を保証している団体、信託の受託者及び公の施設の管理を行っている団体の当該財政的援助等に係る出納その他の事務の執行が当該財政的援助等の目的に沿って行われているか監査する。 ○工事監査 ・工事の計画、設計、積算、施工等の各段階が、法律的に適合し、合理的に行われているか、経済的に妥当であるか等について、技術的側面を中心に監査する。 ○決算審査 ・決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であるか審査する。 ○財政健全化法に関する審査 ・健全化判断比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類が法令に適合し、かつ正確であるか審査する。 ・資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類が法令に適合し、かつ正確であるか審査する。
事業の成果・効果	監査・審査・検査を実施し、合规性や正確性はもとより、経済性、効率性、有効性等について検証することで、行財政の適正な運営に資する。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

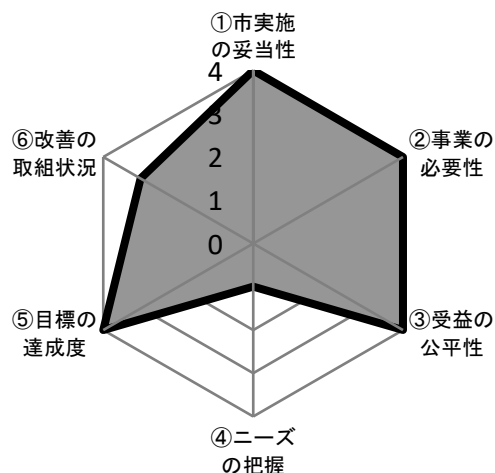
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
監査事務	473	0	473	100%	2	2	2
監査委員	1,999	0	1,999	100%	4	4	4
監査委員会議	176	0	176	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,648	0	2,648	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R6決算	R7決算	R8予算
		1,929	2,648	2,849
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,929	2,648	2,849
一般財源の割合		100%	100%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	地方自治法、地方公営企業法及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき実施している。
②事業の必要性	4	法で設置及び監査・審査などの実施が義務付けられているため、必須である。
③受益の公平性	4	市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、また、事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資することを目的としている。
④ニーズの把握	1	法に基づき実施するものであり、受益者ニーズを反映するものではない。
⑤目標の達成度	4	監査計画に基づき、必要な監査・審査・検査を実施し、完了している。
⑥改善の取組状況	3	各種監査・審査において実施方法の見直し等を行った。現在も改めることのできる事項は見直しを実施している。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和7年度に見直しを実施した事項	例月出納検査の資料について、可能な限りペーパーレス化を図った。
令和8年度に見直しを実施している事項	財政援助団体等に関する監査の対象団体等の拡充 施設監査の対象施設の拡充
今後見直しを検討する事項	例月出納検査以外の決算審査、定期監査等の資料及び調書についてのペーパーレス化

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和7年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課 題	対応策・今後の方向性
経済性・効率性・有効性の観点による監査等の充実	監査委員の意向を踏まえながら、監査・審査・検査の実施方法について、他市の事例等を参考に、効率的に事務が進められるよう研究していく。